

決算書の見方 ～資金収支計算書&事業活動計算書から課題を見つけるために～

【現任研修】

講師 コンパッソ税理士法人横浜青葉事務所 業務部課長 村山健太

- 資金収支計算書の見方 ～3つの財布の意味とは～
- 事業活動計算書の見方 ～施設の実力を知る～
- 自施設の課題を見極める ～他施設との違いはどこにある？～

【研修内容】

社会福祉法人、なかでも介護施設の経営状況は、昨今の物価上昇や労働力不足に伴う人件費高騰により、かつてない厳しさに直面しています。今、多くの法人に、これまで以上に緻密な舵取りが求められています。

本研修では、法人が作成する決算書の中から「資金収支計算書」と「事業活動計算書」をピックアップ。それぞれの計算書から「何を読み解くべきか」、そして「自法人のどこに課題が潜んでいるのか」を具体的に解説します。

令和7年度の決算速報値も交えながら、明日からの経営・管理にすぐ活かせる視点をお届けします。

村山健太 プロフィール

コンパッソ税理士法人横浜青葉事務所 業務2課 課長

平成19年 奥原会計事務所（神奈川県横浜市）入社

平成25年 合併によりコンパッソ税理士法人横浜青葉事務所へと所属変更

現在に至る

入社以来、主に神奈川県下で介護事業を運営する社会福祉法人の会計業務に携わり  
会計監査、経営分析、経営改善提案、資金繰り改善提案、税務申告、レポート執筆など  
会計を切り口に社会福祉法人の経営者様向けに幅広くサポートを行う